

科目名	経営組織論（ミクロ）						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	春学期	開講学部等	経営学部	配当年次	2 年次	単位数	2 単位
教員名	岡部 曜子						

授業概要／Course outline

ミクロの組織論は組織行動論とも呼ばれ、組織における人の行動を研究対象とするため、経営学だけでなく、心理学や社会学との関連性が深い。本講義では、このような幅広い視点から、組織における人間の行動についての理解を深めることを目指す。第1回目から9回目にかけての講義では「人はなぜ働くのか」（モチベーション）、「どのようにキャリアを歩めばいいのか」（キャリア・デザイン）といった個人レベルの課題から、「リーダーはいかにあるべきか」（リーダーシップ）、「チームはどのように力を発揮できるか」（チーム）といった集団レベルの課題へと議論を進める。また第10回目以降は、組織文化や組織変革といった組織レベルの主要テーマについて紹介する。各回の講義の中では、実際の組織や個人を例に取り上げながら、できるだけ詳しく説明してゆく。本講義で得た知識は、組織と関わりながら仕事をしていく中で直面する課題への対処についてヒントを提供するものであり、また自らのキャリアの構築に役立つものである。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- 第10回目から15回目の授業期間に、ビデオを活用して学習する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：組織行動論とは

組織行動論の基本的な枠組みを理解し、これまでの研究の流れを歴史的に概観する。また、組織とは何かについて検討する糸口となる重要な基礎概念として、システム思考、限定合理性、組織均衡、権限と権威、組織の有効性、ライフサイクルなどについて解説する。

第2回 テーマ：モチベーション

人は何によってやる気を起こし、どのようなプロセスで行動に転換していくのかについて考えてみる。マズローの欲求理論、チベーションの内容理論・過程理論、目標による管理などについて説明する。

第3回 テーマ：組織コミットメント

組織コミットメントがどのような有効性を持つのかについて考える。また日本の雇用慣行における組織コミットメントの是非を離職や転職の増加と関連付けながら検討する。

第4回 テーマ：キャリア

組織と個人の両方の立場からキャリアのあり方について検討する。社会化、キャリア発達、企業戦士・会社人間、ガラスの天井、プロフェッション、ピーターの無能の法則について説明し、過去と現在のキャリア論を比較してみる。

第5回 テーマ：組織ストレス

ストレスやバーンアウトなどの組織で働く人が抱える心身の問題について現状を解説し、コーピング（対処行動）や組織的介入などの対応策について検討してみる。

第6回 テーマ：グループ・ダイナミクス

人の集団から生じるダイナミズムについて、集団凝集性、斉一性、チーム・ビルディングなどの概念を通じて学ぶ。

第7回 テーマ：リーダーシップ

リーダーシップの意味を考え、さまざまなリーダー像が存在することを理解する。特性説から変革型リーダーに至るまでのリーダー観を概観し、役割分化、状況適合モデル、代替モデル、ライフサイクル・モデル、カリスマ、アントレプレナー等の考え方を通じてリーダーを多角的に捉えることを促す。

第8回 テーマ：意思決定

組織は意思決定のシステムであるという考え方を理解し、コンフリクトを乗り越えてより良い組織成果を出すための方法を考える。意思決定モデル、個人・集団の意思決定、集団浅慮などの概念を解説する。

第9回 テーマ：組織学習

組織およびその個々のメンバーの行動を変容することを目的とした組織学習という方法について理解する。

第10回 テーマ：中間試験および授業（授業の内容：組織変革）

組織環境に合わせて個人や集団が変化するプロセスを検討する。アカウンタビリティ、顧客満足、組織開発、TQM、自己組織化といったトピックについても触れる。

第11回 テーマ：組織文化

組織のメンバーが共有する価値観や行動パターンである組織文化が組織の有効性において重要な意味を持つことを理解する。ガバナンス、学習する組織、日本的経営、エクセレント・カンパニーなどについて学び、また企業倫理組織文化の変革などにも触れる。

第12回 テーマ：組織デザイン

組織の構造をどのように設計するかについて検討する。ラインとスタッフ、事業部制、ビューロクラシー、ミンツバークの組織論、ルース・カップリング、柔構造化、ネットワーク組織などについて解説する。

第13回 テーマ：組織戦略

チャンドラーの命題、競争優位、SWOT分析、ニッチ、PPM、コア・コンピタンス、戦略ポジション、価値連鎖、多角化戦略など、組織戦略の重要な概念について理解する。

第14回 テーマ：人的資源管理

ダイバーシティ・マネジメントやプロフェッショナル・マネジメントについての理解を深める。

★オンデマンド テーマ：さまざまな組織観（第10回目の授業日～第14回目の授業日に配信）

組織における「人」がどのように捉えられているかという視点から、授業で紹介した組織論の考え方を整理しなおし、組織についてのより深い考察に繋げる。

事前・事後学修／Preparation and assignments

あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に臨む。また、各回の講義のテーマに関する文献を読み、キーワードについて調べておく。講義を聴きながら、メモを取り、疑問点は積極的に質問する。

第1回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の個所や関心を持った内容について調べる。

第2回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の個所や関心を持った内容について調べる。

第3回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の個所や関心を持った内容について調べる。

第4回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の個所や関心を持った内容について調べる。

第5回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の個所や関心を持った内容について調べる。

第6回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の個所や関心を持った内容について調べる。

第7回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の個所や関心を持った内容について調べる。

第8回

〔事前学習〕 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

〔事後学習〕 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第9回

〔事前学習〕 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

〔事後学習〕 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第10回

〔事前学習〕 前回までの授業内容を復習し、中間試験に備える。第10回目の授業については、パワーポイントの資料を読み、

キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

〔事後学習〕 中間試験において授業の理解が不十分であったことが判明した箇所について、十分に理解できるまで調べ直し

ておく。第10回目の授業については、資料を読み返し理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第11回

〔事前学習〕 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

〔事後学習〕 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第12回

〔事前学習〕 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

〔事後学習〕 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第13回

〔事前学習〕 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

〔事後学習〕 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第14回

〔事前学習〕 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

〔事後学習〕 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。さらに全ての講義資料を読み返し、

講義全体の理解の定着を図り期末試験の準備をする。

★オンデマンド

〔事前学習〕 これまでに学習した組織行動論の内容を振り返り、それぞれの理論において人がどのように捉えられているか

について考えてみる。

〔事後学習〕 ビデオの要点を整理し、不明な箇所を調べる。

※各対面授業とオンデマンド授業に対する事前学習の所要時間の目安は90分、事後学習の所要時間の目安も90分である。

上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うこと。

授業の到達目標/Expected outcome

組織行動論についての理論を理解し、自らが組織人として行動する際の指針を得ることを目標としている。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- | | |
|---------|-----------------|
| ・ 思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・ 幅広い教養 | 【経営学部 マネジメント学科】 |
| ・ 倫理性 | ・ 戦略と組織の基本知識 |
| | ・ 基礎的なマネジメント力 |

履修上の注意/Special notes, cautions

講義資料はあらかじめmoodleから各自でダウンロードしておく。

オンデマンド授業はmoodle上で行い、第10回目から第14回目の最終授業日までを配信期間とする。

評価方法／Evaluation

中間試験で30%、期末試験で70%評価する。中間試験は10回目の授業時間内に30分間のマークシート方式で行う。
また、期末試験は試験期間中に60分間の記述式で行う。

教 材／Text and materials

テキスト：パワーポイント資料

参考資料：桑田幸太郎、田尾雅夫『組織論 補訂版』（有斐閣アルマ）
関本浩矢『ベーシックプラス 組織行動論』（中央経済社）
金井尋宏『経営組織』（日経文庫）

質問や相談の方法／Instructor contact

メールアドレスで連絡を受ける。moodleに記載するメールアドレスを使い、件名に講義名を入れ、学籍番号、氏名を明記すること。これらが記されていないメールは受け付けられない。

オフィスアワーは以下の通り。

春学期 火曜 昼休み 木曜 2限目
秋学期 火曜 昼休み 木曜 2限目
場所：4 K319

その他／Others

重要な連絡事項はmoodleに載せる。